

| | 福島県 | | 県中地域 | | | | 須賀川・岩瀬地区 | | | | 石川地区 | | | | 田村地区 | | | |
|---------------|-------|-------|-------|---------|-------|---------|----------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
| | 第30週 | 第29週 | 第30週 | | 第29週 | | 第30週 | | 第29週 | | 第30週 | | 第29週 | | 第30週 | | 第29週 | |
| | 感染症動向 | 感染症動向 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 |
| インフルエンザ | 13 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 咽頭結膜熱 | 33 | 54 | 5 | 0 | 4 | 0 | 5 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 72 | 69 | 3 | 0 | 3 | 8 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 4 |
| 感染性胃腸炎 | 102 | 140 | 25 | 1 | 30 | 6 | 25 | 1 | 30 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 水痘 | 12 | 14 | 1 | 1 | 6 | 1 | 1 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 手足口病 | 27 | 25 | 9 | 0 | 13 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 12 | 0 |
| 伝染性紅斑 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 突発性発疹 | 32 | 25 | 5 | 0 | 3 | 2 | 5 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| ヘルパンギーナ | 205 | 107 | 21 | 0 | 7 | 4 | 10 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 11 | 0 | 1 | 2 |
| 流行性耳下腺炎 | 8 | 7 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| RSウイルス感染症 | 79 | 84 | 7 | 0 | 5 | 0 | 7 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 急性出血性結膜炎 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 1 | | 0 | | 0 |
| 流行性角結膜炎 | 17 | 16 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 4 | | 0 | | 1 | | 0 | | 0 |

※平成30年1月1日より百日咳が全数把握疾患となりました。また、風しんの届出が「診断後7日以内」から「診断後直ちに」と変更になりました。
 ※平成30年5月1日より急性弛緩性麻痺が全数把握疾患となりました。

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

| | | |
|-----|---|--|
| 流行中 | <p>〈ヘルパンギーナ〉 発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に流行します。感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。</p> <p>〈RSウイルス感染症〉 RSウイルスの感染による呼吸器感染症です。症状は軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。感染経路は飛沫感染、接触感染です。</p> | <p>※飛沫感染 患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことで感染します。マスクの着用や咳エチケットを実施してください。</p> <p>※接触感染 細菌が付着した手で口や鼻に触れることで感染します。手洗い、うがい、頻りに人が触れる場所(ドアノブ等)についての環境整備など基本的な対策を徹底することが必要です。</p> <p>※糞口感染 接触感染の一種。便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染します。排泄後の手洗い、オムツの適切な処理が必要です。</p> |
| | <p>〈咽頭結膜熱〉 アデノウイルスの感染により、38~39度台の発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状を引き起こす、小児に多い病気です。プールから上がったときは、シャワーを浴び、うがいし衛生を保つようにしましょう。患者とのタオルの共用など綿密な接触は避けましょう。</p> <p>〈A群溶血性レンサ球菌咽頭炎〉 A群レンサ球菌による上気道の感染症です。感染経路は飛沫感染、接触感染です。</p> <p>〈手足口病〉 主として乳幼児に見られる手、足、口腔内等に小水疱が生じる伝染性のウイルス性感染症です。感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染です。</p> | |

海外旅行時に注意すること！！

○渡航前に渡航先で流行している感染症について知ろう！！

- 厚生労働省のホームページや検疫所のホームページ、外務省の海外安全ホームページで渡航先の感染症の発生状況に関する情報や注意事項を確認しましょう。
- 海外渡航をする前に、これまで受けた予防接種について確認しましょう。
- 予防接種が受けられる感染症については、余裕をもって医師にワクチン接種の相談をしておくなど、適切な感染予防を心がけましょう。

○渡航中及び帰国後に体調が悪くなったら

空港や港に設置されている検疫所では、渡航者の方を対象に健康相談を行っています。また、不安な点がありましたら、最寄りの保健所にお問い合わせください。

○渡航中に気をつけること

- 蚊やマダニに注意！！
蚊を媒介とした感染症が世界的に多く報告されています。蚊に刺されたり、マダニに咬まれたりすることを予防するため、野外活動の際は長袖・長ズボンを着用し、素足にサンダル履きは避け、虫除け剤を使用するなど注意しましょう。
- 動物に注意！！
狂犬病や鳥インフルエンザ等動物からうつる感染症があります。動物はどのような病原体を持っているか分からないことが多いです。海外では、むやみに動物に触れることはやめましょう。
- 食べ物や水・氷に注意！！
水や食べ物からウイルスがうつることがあります。開発途上国など公衆衛生が不十分な地域で感染するリスクが高いです。魚介類や生肉等を介した寄生虫疾患も注意が必要です。また、屋台や不衛生な飲食店で提供される氷は、病原体に汚染されている危険性がありますので注意しましょう。



長袖・長ズボンを着ましょう！！

その飲み物は安全ですか？
よく確認してから飲みましょう！！



この情報に関するお問い合わせ先: 県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL: 0248-75-7818

E-mail: kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp